

新型コロナウイルス感染症の感染者等に対する 偏見や差別の防止について

<保護者の皆さまへ>

新型コロナウイルスに感染するリスクは誰にでもあり、また、感染経路もさまざまです。

今後、新たな感染拡大に伴い、あなたの家族や周囲の人が感染してしまうかもしれません。

そのような状況の中、感染された方や御家族、治療に当たられている医療関係者や御家族に対する「うわさ話」や「心ない書込み」などの状況が見られ、当事者の皆さんが傷つき、悲しんでおられます。

いかなる場合であっても、不当な差別、偏見、いじめ等は決して許されるものではありません。

保護者の皆さまには、公的機関からの正しい情報に基づき、人権意識をもって、お互いを思いやりながら、冷静に行動していただくようお願いいたします。

<宮崎県人権ホームページより>

宮崎県では、新型コロナウイルス感染症への対応が長期化することで、さまざまな心の悩みを抱える県民の皆さまへの相談窓口を設けています。

詳細については、「[宮崎県ホームページ](#)」をご覧ください。

<宮崎県ホームページに掲載している関連資料及び相談窓口のリンク>

- [新型コロナウイルス感染症に関する「心のケア」の相談窓口について](#)
- [人権への配慮について（コロナウイルス対策）](#)（外部サイトへリンク：政府広報室ホームページ）
- [新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～](#)（外部サイトへリンク：日本赤十字社ホームページ）

<相談窓口・ダイヤル>

- [みんなの人権110番（全国共通人権ダイヤル）](#)
電話：0570-003-110（平日午前8時30分～午後5時15分）

ストップ! コロナ差別

やさしさと思いやりの心で

苦しいときこそ、みんなのやさしさと思いやりの心で、乗り越えていきましょう!

① ウイルスから自分を守る行動は、自分のためだけでなく、周りの人のためにもなります。



マスク



消毒

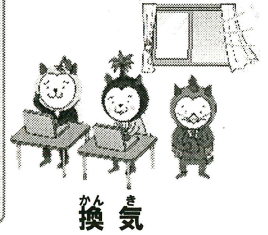


手洗い



うがい

感染を予防して、自分の健康を管理することはとても大切です。お互いに声をかけ合って、みんなで元気に過ごしましょう。感染予防の約束を忘れていた友だちがいたら、やさしく教えてあげましょう。

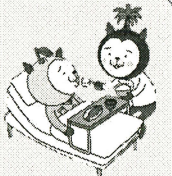


換気

② 人が傷つく言葉ではなく、励みや応援の言葉をかけましょう。



もし感染しても、悪いのはウイルスであって、感染した人ではありません。「確認しよう」…うわさや書き込みは正しい情報なのか、確かめましょう。「想像しよう」…自分の言葉や行動が他の人を傷つけていないか、「自分のこと」として考えてみるのが大切です。相手がどんな気持ちになるのかを考えましょう。



「感謝しよう」…感染拡大防止や社会を支えるために、毎日頑張っている人に感謝しましょう。

③ 不安になったり、悩んだりしたら、信頼できる人に相談しましょう。



ウイルスに感染する不安はみんな同じです。困ったことがあったら、学校の先生や大人の人に相談しましょう。相談しにくいときは、下の相談窓口も利用してください。

【相談窓口】

- ・24時間子供SOSダイヤル(0120-0-78310)
- ・ふれあいコール(0985-38-7654、0985-31-5562)
午前8時30分～午後9時(祝日、12/29～1/3を除く)
- ・ネットいじめ目安箱 (<http://meyasubako.miyazaki-c.ed.jp>)



目安箱QRコード



STOP! コロナ差別

～オールみやざき共同宣言～

私たちが闘っているのは「人」ではなく「ウイルス」です。私たちは、感染した方々に思いやりと優しさを、また、医療従事者をはじめ、ウイルスと闘うすべての方々に感謝とエールをおくりながら、県民が心を一つにして差別や誹謗中傷のない宮崎県づくりに取り組むことを宣言します。

- 私たちは、感染した方々や、その御家族などへの差別や誹謗中傷は絶対に許しません。
- 私たちは、最前線で治療や社会生活の維持にあたる医療従事者や関係者の方々に心から感謝し、エールをおくります。
- 私たちは、お互いを思いやる心と優しさを忘れずに、新型コロナウイルス禍の困難な状況乗り越えていきます。

